



第2580地区 東京豊島東ロータリークラブ

WEEKLY REPORT

創立/1986年2月19日 (会長)稲川 一 (幹事)月井 雅夫
例会場/〒171-8505 東京都豊島区西池袋1-6-1 ホテルメトロポリタン TEL 03-3980-1111
事務所/〒171-0021 東京都豊島区西池袋2-29-14-101 TEL 03-3985-7577 FAX 03-3590-6644
HP <http://www.toshimah-rc.jp> E-mail info@toshimah-rc.jp

第 1288 回例会

2013 年 5 月 22 日

本日のプログラム

例 会 12:30~13:30

卓 話 何をどのくらい食べたらよいのか?

～食事バランスガイドの活用～

佐野短期大学非常勤講師 前早稲田大学招聘研究員 鈴木恵美氏

紹介者 廣内世英会員

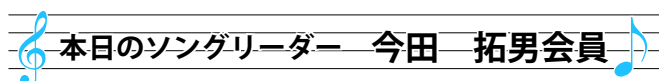
次回のプログラム

例 会 12:30~13:30

卓 話 アナウンサーの世界

元日本テレビアナウンサー次長 松永二三男氏

紹介者 斉藤 直会員



●先週の例会報告 2013 年 5 月 15 日

会 長 報 告

- ① 4月25日に行われました、ビオトープ完成・引き渡し式の様子が豊島新聞に掲載されております。皆様のメール BOX にお配りしておりますのでご覧ください。
- ② 既に FAX にて皆様にホームミーティング開催のお知らせいたしております。今回はA班班長浅原会員、B班班長時友会員、C班班長佐野会員にお願いしております。期間は5月20日から31日までに実施をお願いします。

幹 事 報 告

- ① スロバキアに留学しております、末村 菜さんの1月～4月までの月間報告書を回覧しております。ホストチェンジなど新しいホストファミリーとの生活や行事への参加、貴重な経験をした内容が報告されておりますので是非ご一読下さい。
- ② 本日卓話を頂戴する長辻象平様のプロフィールをテーブルの上におかせていただいております。また本日の卓話についてもおくばりしてあります。食事しながら目を通すようお願いいたします。目を通していただくと卓話もいっそうおもしろいものになると思います。

■ゲスト

産経新聞論説委員 長辻 象平様
ご紹介者 産経新聞 佐藤 久雄様

■ビジター

(北九州) 八幡中央 RC 小金丸 澄彦様
東京池袋 RC 加藤 勇夫様

■出席報告

会 員	出席参入 会員数	出席数	欠席数	出席率	4月24日分 修正出席率
32名	28名	25名	3名	89.29%	100%

ニコニコ BOX

稲川会員/先週は誕生日のお祝いをありがとうございました。それと、少しばかりうれしい事がありましたのでニコニコしています。

月井会員/5月9日の次年度会長廣内さんと次年度幹事有賀さんによる委員長会議は大変有意義でした。また大変ごちそうさまです。稲川会長の申したとうりニコニコにてお礼申し上げます。

島田会員/皆出席祝ありがとうございました。

滝澤会員/廣内さん、先日はありがとうございました。

櫛田会員/遅刻して申し訳ございません。



八幡中央RCのビジターにバナーをお渡しする

江戸とエネルギー

産経新聞論説委員 長辻象平氏



今年後半のキーワードは「エネルギー」になるはずです。

国のエネルギー基本計画は、年末の策定に向けて議論が進められ、7月下旬からは原子力規制委員会による新基準に基づく各原発の安全審査が始まります。

2011年3月の福島第1原子力発電所の事故以来、原発の稼働が困難になる中で火力発電用の燃料輸入が増えるなどして、2012年度の貿易収支は過去最大の8.1兆円になっています。11年度も4.4兆円の赤字で、2年連続の貿易赤字を記録しています。

これだけの国富の流出が進んでいるにもかかわらず、エネルギーに関する国民の関心は高くありません。

古代文明では、熱源や建築資材として森林を過剰

利用した結果、森林の荒廃＝エネルギー枯渇を引き起こして、滅亡に至った例を見ることができます。

日本での平城京から平安京への遷都もエネルギー枯渇を一因とする見方があります。わずか84年で大移動をしたのですから、政治的な要因以外の理由があったとみても不思議はないでしょう。

江戸時代には、幕藩体制の下で厳格な森林管理が行われていました。これがなければ約270年間にわたって徳川幕府が続くことはなかったでしょう。開国はバイオマスエネルギー（薪炭）と化石燃料（石炭・蒸気機関）のエネルギーの差による帰結とみることができます。

日本が太平洋戦争に踏み切った契機の一つにも米英などによる対日石油禁輸が挙げられます。

エネルギーは人類の進化から歴史までを規定しています。「火」の使用は猛獣から身を守るためだけではありません。動物の中で初めて「外部エネルギー」の利用を実現したのが人類の祖先です。この外部エネルギーの利用によって、ホモ・サピエンスへと進化を遂げました。

現代社会は大量のエネルギーを利用することで成立しています。日本はこのエネルギーの欠乏に直面しようとしているのですが、国民の間にその実感はないようです。

エネルギーが不足すると社会は停滞し、国力も低下します。

その逆の場合はどうでしょう。利用可能なエネルギーが増加すると社会や文化は、活況を呈します。

2013～14年度 委員会構成

会長 廣内世英、副会長 渡邊裕之（会長エレクト）、幹事 有我信行、会計 櫛田隆治

委 員 会	委員長	副委員長	委 員
クラブ奉仕委員会	渡邊 裕之		
S A A（ソングR・出席）	西島 貞枝	浅原 英明	全会員
会員増強・退会防止委員会	浅原 英明	佐々木通博	
会員選考・職業分類委員会	大林 原	斉藤 直	新倉 康榮
親睦・家族委員会	月井 雅夫	吉田 武輝	渡邊 裕之 澤田 博司 滝澤 宏 時友 雅行
R 情報・雑誌委員会	稲川 一	島田 謙司	佐野明三郎
プログラム・広報委員会（会報・I T）	滝澤 宏	村上 芳明	渡邊 裕之
職業奉仕委員会	佐野明三郎	平山 衛	細田 悌治 吉田 武輝
社会奉仕委員会（環境保全）	島田 謙司	櫛田 隆治	山元 巖 榊原 一久
国際奉仕委員会	村山 圭治	今田 拓男	前川 昭一 庄野 芳博
バギオ委員会	竹内 哲夫	月井 雅夫	前川 昭一
米山奨学委員会	今田 拓男	時友 雅行	村山 圭治
R 財団委員会	佐々木通博	稲川 一	米倉 健司
新世代奉仕委員会	村中 秀朗	榊原 一久（交換担当） 澤田 博司（育成担当）	